

広報ふたば



【表紙写真】天響○○標葉^{せんだん}せんだん太鼓 (町立学校梅檀祭)



平成30年度双葉町表彰式



11月3日、いわき事務所大会議室において、平成30年度双葉町表彰式が挙行されました。

式では、伊澤史朗町長の式辞に続き、町政進展に多大な貢献をされた方々の功績を称え、善行表彰として1団体と1人の方に表彰状・記念品が、6団体と23人の方々に感謝状・記念品が贈られました。

続いて、佐々木清一町議会議長が祝辞を述べられ、受章者を代表して株式会社伊藤工務店代表取締役伊藤哲雄様が「東日本大震災並びに原発事故発生以降も事業を継続することができましたのも、ご来賓の皆さまをはじめ、関係者の方々のご協力があったからこそと、厚く感謝を申し上げます」と謝辞を述べられました。受章者の方々は次のとおりです。



▲ 後列左から、前田建設工業(株)様(2人)、東京江戸川ロータリークラブ様、大同生命保険(株)様、A I U損害保険(株)様
前列左から、(株)アイライフ様、(株)伊藤工務店様、伊澤町長、佐々木議長、浦和フィルハーモニー管弦楽団様



▲ 後列左から、加村めぐみ様、石川榮次様、新川敏美様、藤田博司様、阿部利一様、中村希雄様
前列左から、竹原天様、大橋庸一様、伊澤町長、佐々木議長、朝川洋一様、原中良博様

善行表彰

◇ 一般寄付金として多額の金員を寄付し、その善行により町の公益に著しく尽力

株式会社伊藤工務店
代表取締役

伊藤 哲雄 様 (新山)
いわき市在住

◇ 第18回アジア競技大会ソフトテニス女子団体競技において金メダルを獲得し、その善行により町の公益に著しく尽力

半谷 美咲 様 (渋川)
広島県在住

感謝状

◇ 東日本大震災以降、双葉町民の健康維持のため、避難先医師会と連携した巡回活動や健康相談に尽力

石田 秀一 様 (新山)
東京都在住

◇ 東日本大震災以降、毎月、巻紙に励ましの言葉を書き添えた季節ごとの絵手紙を寄贈

吉橋 則子 様 (埼玉県)

◇東日本大震災以降、町成人式において、国歌や町民の歌の伴奏など、荘厳な演奏を披露
浦和フィルハーモニー
管弦楽団様
(東京都)

◇東日本大震災以降、町成人式において、記念のコサージュ(水引)を寄贈
日本伝統水引工芸
創作スタジオ様
(埼玉県)

◇東日本大震災以降、毎年チャリティーコンサートを開催し、その入場料と義援金を寄付
株式会社アイライフ
代表取締役 中林 幸一様
(埼玉県)

◇復興公営住宅勿来酒井団地内の集会所備品を寄贈
東京江戸川
ロータリークラブ様
(東京都)

◇町民のための休憩施設「双葉町ふれあい広場」を設置
前田建設工業
株式会社様
(東京都)

◇ふるさと納税として多額の金員を寄付
重富 秀一様 (福島市)

◇東日本大震災の復興支援として多額の金員を寄付
公益財団法人
全国法人会総連合
AIU損害保険
株式会社様
(東京都)

大同生命保険
株式会社様
(東京都)

◇行政区長として町民の絆・コミュニティの維持・発展並びに交流事業に貢献
大橋 庸一様 (細谷)
細谷行政区長10年 いわき市在住

朝川 洋一様 (渋川)
渋川行政区長10年 いわき市在住

齊藤 六郎様 (両竹)
両竹行政区長10年 いわき市在住

菅本 洋様 (浜野)
浜野行政区長10年 京都府在住

竹原 天様 (新山)
新山行政区長8年 いわき市在住

原中 良博様 (長塚二)
長塚二行政区長8年 いわき市在住

渡部 一美様 (山田)
山田行政区長7年 いわき市在住

加村 英敬様 (三字)
生前にわたり三字行政区長7年

大森 忠雄様 (石熊)
石熊行政区長6年 郡山市在住

松本 秀男様 (羽鳥)
羽鳥行政区長6年 白河市在住

高松 平様 (鴻草)
鴻草行政区長6年 いわき市在住

石川 榮次様 (下長塚)
下長塚行政区長5年 いわき市在住

藤田 博司様 (下条)
下条行政区長4年 埼玉県在住

佐藤 一夫様 (郡山)
郡山行政区長4年 いわき市在住

中村 希雄様 (中田)
中田行政区長4年 茨城県在住

新川 敏美様 (中田)
中田行政区長4年 いわき市在住

千吉良 高志様 (三字)
三字行政区長3年 群馬県在住

齊藤 宗一様 (郡山)
郡山行政区長2年 茨城県在住

田中 信男様 (石熊)
石熊行政区長2年 郡山市在住

阿部 利一様 (羽鳥)
羽鳥行政区長2年 宮城県在住



▲謝辞を述べられる株式会社伊藤工務店代表取締役伊藤哲雄様

町民の皆さまへ

平成30年の最後の月、師走を迎えました。日ごとに寒さが増してくるのが感じられる季節となりました。

11月3日、いわき事務所において、平成30年度双葉町表彰式を挙行いたしました。今年度の表彰式では、善行表彰として1団体と1人の方に表彰状を、23人と6団体に感謝状をお贈りいたしました。町政進展や避難者支援、町民の絆の維持・発展に多大な貢献をされました方々に対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

11月6日から8日まで、双葉町の友好町である京都府京丹波町から太田昇町長はじめ3人の幹部職員の方々がいわき事務所を訪問されました。私からはこれまでの多くのご支援に対する感謝と今後とも両町の交流が続けられるようにとお願ひしました。さらに双葉町の被災の現状と復興への課題について説明いたしました。

6日には町立学校を、7日には、特別養護老人ホーム「せんだん」、復興公営住宅 勿来酒井団地、サポートセンターひだまり、商業施設などを視察していただき、その後双葉町内にも立ち入りし、改めて被災の現状と復興の状況をつぶさに見ていただきました。役場庁舎や双葉海水浴場、中間貯蔵施設エリア、双葉南小学校、JR双葉駅周辺を視察され、中心市街地では歩きながら、被害の状況や昨年9月に認定された特定復興再生拠点区域復興再生計画について説明しました。太田町長からは「震災の爪あとが残る一方で双葉町が復興に向かっ

て進んでいることを確認しました。これからどんなご支援ができるかを考えながら息の長い交流をしていきたい」とのお言葉をいただきました。

11月17日のいわき事務所での開催を最後に、県内外11会場で開催した町政懇談会を終了いたしました。

懇談会では町からの説明の後、町民の皆さんからのご質問やご意見をお聞きしました。遠方からご出席いただいた皆さまに心から感謝申し上げます。

また都合で出席できなかった方については今後、町公式ホームページやタブレット端末に各会場で行った懇談会の議事録を掲載しますので、ご一読いただきたいと思います。また、町民の皆さまからの貴重なご質問やご意見等については、内容を整理し、今後の行政運営に反映させていきたいと考えております。

双葉町もようやく帰還に向けた復興の具現化が始まったところではありますが、双葉町を取り巻く環境は、まだまだ厳しい状況が続くと予想されます。復興まちづくり計画(第二次)に基づき、双葉町の復興を前進させ、町への帰還を目指して町民の皆さまが希望の持てる生活環境が整うよう、様々な課題に全力で取り組んでまいります。

結びに、今年一年間、双葉町民に対しご支援いただいたすべての皆さまに厚く御礼を申し上げますとともに、町民の皆さまにおかれましては、ご壮健にて新年を迎えられますよう心よりご祈念申し上げます。

双葉町長 伊澤 史朗

年末年始におけるコンビニエンスストア等における住民票などの各種証明書の自動交付サービスの停止について

コンビニエンスストア等におけるマイナンバーカードを利用した住民票などの各種証明書の自動交付サービスについて、年末年始(12月29日から1月3日)は終日、証明書の発行ができませんのでご注意ください。

また、同期間中は、全ての証明書が役場窓口や郵送請求でも発行ができませんので、各種証明書が必要な方は時間に余裕をもって申請をしてください。

ご迷惑をお掛けしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

● **停止期間** 平成30年12月29日(土)から平成31年1月3日(木)まで(終日)

● **出力が停止される帳票**

住民票の写し、印鑑証明書、戸籍の全部事項証明書(戸籍謄本)、戸籍の個人事項証明書(戸籍抄本)、戸籍の附票の写し、所得・課税証明書

友好町 京都府京丹波町の太田昇町長が双葉町を訪問

11月6日から8日まで、双葉町の友好町である京都府京丹波町の太田昇町長と町職員3人が双葉町を訪問しました。京丹波町長が双葉町を訪問するのは初めてのことです。

初日は、館下明夫教育長の案内で町立学校仮設校舎を視察しました。その後、町いわかき事務所で、伊澤史朗町長と金田勇副町長、館下教育長と意見交換を行いました。京丹波町の豪雨災害の報告もあり、京丹波町の太田町長は「関西大学との連携や消防団員の早期避難の判断が功を奏し、人的被害を免れた」と話されました。町からは記念品の双葉ダルマが贈呈されました。

2日目は、特別養護老人ホーム「せんだん」、復興公営住宅勿来酒井団地内のサポートセンターひだまりや商業施設を視察し、ナショナルトレーニングセンターJヴィレッジの視察を経て双葉町内に入りま

した。役場庁舎内、マリーンハウスふたば、双葉南小学校、中心市街地、JR双葉駅周辺を視察し、伊澤町長は「これまで受けてきた温かいご支援に心から感謝している」と述べ、京丹波町の太田町長は「これから何ができるのかを考え、心の交流を続けていきたい」と話されました。

京丹波町からは震災直後から義援金や支援物資などの支援のほかにも、ダルマ折り紙を通じた交流などたくさんのお話をいただきました。今年夏には復興公営住宅勿来酒井団地内で行われた夢ふたば人主催の盆踊りでも、京丹波町の少年野球の子どもたちがお米などのバザーを行い、その売上金をサポートセンターひだまりへご寄付いただきました。

今後も両町は息の長い交流を続けていく予定であり、両町長がその思いを新たにしました。



▲町立学校仮設校舎



▶ 双葉海水浴場



▶ 特別養護老人ホーム「せんだん」



▶ 双葉南小学校



▶ 双葉町サポートセンターひだまり

コンビニエンスストア等における住民票などの各種証明書の自動交付サービスの一時停止について

コンビニエンスストア等におけるマイナンバーカードを利用した住民票などの各種証明書の自動交付サービスについて、ネットワーク関連機器の移設及び更新作業のため、次の期間中は、証明書の発行ができませんのでご注意ください。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

● **停止期間※** 平成30年12月8日(土) 6時30分から
平成30年12月9日(日) 12時00分まで

● **出力が停止される帳票** 住民票の写し、印鑑証明書、戸籍の全部事項証明書(戸籍謄本)、戸籍の個人事項証明書(戸籍抄本)、戸籍の附票の写し、所得・課税証明書

※コンビニエンスストア等における証明書等の自動交付サービスの利用可能時間は6時30分から23時00分までです。ただし店舗の営業時間内に限ります。

【問い合わせ先】 戸籍税務課 戸籍係 ☎0246-84-5204

年始期間の住民一時立入お知らせ

内閣府ではこれまで年始の住民の一時立入を行ってきませんでした。今年度、試験的な立入を行うこととなりました。

詳細は以下のとおりとなります。

1. 実施日：平成31年1月9日(水)～1月15日(火)
2. 入域時間：午前9時～午後3時まで(通常より1時間短縮)
3. 対応スクリーニング場：加倉スクリーニング場、毛萱スクリーニング場
4. 受入世帯数：1スクリーニング場当たり1日10世帯
5. 予約受付期間：立入日の4日前まで(1月15日立入の場合は1月11日まで)

一時立入コールセンター 0120-220-788

※12月29日～1月3日の間コールセンターは休止となります。

※当日受付は行いませんのでご注意ください

- ◆通常の一時立入と比べて、スクリーニング場及び巡回対応者が限定されているため、各種制約がございますことをご理解の上、お申し込みください。
 - ◆緊急時に連絡が取れるよう、立入の際は携帯電話・スマートフォンを必ず持参するとともに、安全確保の観点から2名以上で立ち入るようにしてください。
 - ◆立入後は必ずスクリーニング場に立ち寄り、線量計を返却するとともに、スクリーニングを実施してください。
 - ◆携帯電話、スマートフォンをお持ちでない場合は受付できませんのでご注意ください。
- なお、立入後に簡単なアンケートを実施いたしますので、ご協力いただけますよう、よろしく願いいたします。

【問い合わせ先】 住民生活課 ☎0246-84-5206

福島県では万が一、原子力災害が発生した場合に備えて、事前に確認しておく情報や緊急時に役立つ情報をまとめたWEBサイト「原子力災害に備える情報サイト」を公開しています。

この情報サイトが、このたびリニューアルを行い、スマートフォンに対応するなどさらに見やすく使いやすくなりました。

サイト内には現在の福島第一原発の状況や原発事故の際の避難先市町村などが掲載されています。

ぜひ、ご活用ください。

原子力災害に備える情報サイト



<https://evacuation-fukushima.jp/>

～教育長メッセージ～

夢と希望のある「学び」へ

朝夕の冷え込みも厳しくなってきました。いよいよ師走を迎え、1年の総まとめの時期となりました。学校でも、一年の節目として目標に照らした反省を行い、改善と今後の抱負を思い描くための話し合う場が設定されます。その際、学校及び家庭において大人からの声かけが子ども成長に大きく関係する場合があります。人間は、得意な部分と不得手な部分を必ず持っています。見方を変えれば、不得手な部分はその人にとって『大きな伸びしろ』であると考えられることはできないでしょうか。得意な分野はさらに上を見つめ知識・技能を伸ばすため、可能性を追求できる機会を設けてあげることが学校教育、家庭教育の役割と考えます。そこで、家庭においても出来ている事を認め褒めてあげ、不得手の部分は一緒に話し合いながら確認し努力事項として共有してほしいと思います。現在、教育総務課でも、平成28年度に策定した5年間の基本計画である『双葉町教育振興基本計画』の中間評価を実施し、教育活動P-D-C-Aサイクルの実効性を上げる取り組みをしております。

生涯学習では、過日、いわき市勿来地区総合文化祭に特別枠としてコーラスふたば、標葉せんだん太鼓保存会、民謡同好会、JAスマイル大正琴の皆さんが出演し、素晴らしい発表を披露していただきました。また、富岡町で開催された「ふるさとの祭り」では前沢女宝財踊り、三字の神楽の発表もありました。皆さんの夢と希望に向けた取り組み、意気込みを拝見し、うれしく思いました。これからも楽しさを味わいながら継続と保存に力を注いでいただきたいと思います。

平成30年度 町政懇談会

県内外の11会場において開催し、多くの町民の皆さまに足を運んでいただきました。誠にありがとうございました。伊澤史朗町長より挨拶と町政の説明後、教育行政についてお話しさせていただきました。以下に要約したものを載せております。着実に復興・創生に向けたスタートが切れたと感じますが、これから情勢が変わる部分も出てくると思います。しっかりと状況を把握し、安全・安心を担保しながら丁寧に進めたいと考えています。ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



〔1〕 双葉町幼児、児童、生徒の避難先と数 県内320名 県外239名 合計559名

〔2〕 町立学校の現在 [幼児9名 児童31名 中学生12名 合計 52名]

- (1) 柔軟な小・中連携による教育活動
- (2) いわき市、地域の協力による特色ある学校教育の展開
- (3) 少人数指導をより効果的に実践するための組織的な取り組み（町立学校の強み！）

〔3〕 教育総務課の今後の取り組み

- (1) 学校、公共施設の被害状況調査及び本格除染の実施 → あり方検討の準備
- (2) 私物（学用品等）の返却を基本とした整理整頓 → 意向調査を実施
- (3) 指定文化財及び個人所有の文化的資料等の保全
- (4) 生涯学習活動への支援（婦人学級、町体育協会）

双葉町教育長 舘下 明夫

双葉町立幼・小・中学校合同文化祭

手を取りあって
みんな輝け！ 笑顔の花束

梅檀祭



10月27日、町立学校体育館において「手を取りあって みんな輝け！ 笑顔の花束」をスローガンに幼稚園・小学校・中学校合同の文化祭「梅檀祭」が開催されました。

オープニングに小中学生による標葉せんだん太鼓保存会より指導を受けて練習した「天響」の演奏があり、その力強い音色に来賓、保護者の方々から大きな拍手が送られました。

中学生は、地域を知る、働くことについて考える、自分の生き方を考えるというテーマで総合的な学習の発表を行い、1年生は保存会の皆さまに指導を受けて練習した「山田じやんがら念仏踊り」を披露しました。そのほか、各学年がそれぞれ違うパートを演奏した箏の演奏、自分にとっての大切なものを考えながら合唱を発表しました。



小学生は、低学年が詩を暗唱しアレンジしたり詩の群読に挑戦し、ユニークなアレンジで会場からは笑い声があがる場面もありました。高学年は昭和の広島で強く生き抜いた一家の様子を描いた劇を発表しました。

幼稚園児は素敵な王子様とかわいとお姫様になって踊りを披露し、その一生懸命なかわいらしい姿に会場の方々は大らかな拍手を送りました。

会場の中には梅檀祭の練習をする園児・児童・生徒の写真が展示されたほか、職場見学や総合的な学習の時間の成果のパネルなどが貼られ、保護者の方々は目を細めて眺めたり写真におさめたりしていました。

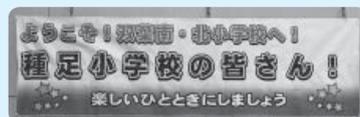
園児・児童・生徒全員が一丸となり、みんなが輝いた梅檀祭。子どもたちのたくさんの笑顔が見られました。



加須市立 種足小学校と交流会 ~町立学校~

10月24日、町立学校仮設校舎において加須市立種足小学校と双葉南・北小学校との交流会が行われました。英語指導助手のフィリップ・ジェリーマン先生が4年前に種足小学校でも英語指導を行っていたことがきっかけとなり今回の教え子同士の交流会が実現しました。昨年はテレビ電話を使った交流も行いました。

交流会は種足小学校の6年生と双葉南・北小学校の5・6年生が参加し、「グリーティング(名刺交換)」や「じゃんけん列車」「猛獣狩りに行こう！」などのゲームを通じて交流を深めました。全員で「ビリーブ」を合唱したあとに、種足小学校の児童から本物の四つ葉のクローバーが入ったポストカードがプレゼントされました。種足小学校のバスを見送る際には名前を呼んで別れを惜しむ児童の姿も見られました。



第31回双葉町総合美術展

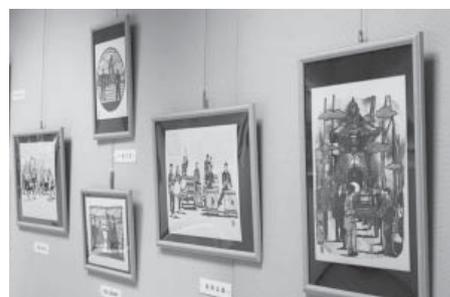
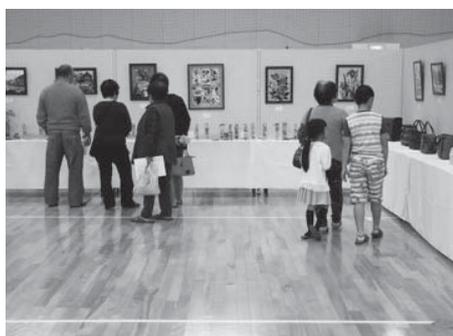
第5回双葉町町民作品展

10月11日、12日の両日、郡山市のビッグアイにおいて、双葉町芸術文化団体連絡協議会主催による第31回双葉町総合美術展と第5回双葉町町民作品展が開催されました。

総合美術展には各地に避難する会員の皆さまの、写真、書、絵画、短歌など8つの部門の約50点の作品が展示され、町民作品展には自治会や婦人学級の皆さんの手芸作品やハーバリウムなど約70点が展示されました。また今回は、友好町の京都府京丹波町の方々の切り絵などの作品を特別展示するコーナーも設けられました。

町民の方々も多く訪れ、交流をしながら故郷の方々の作品に見入っていました。

10月27日、28日はいわき市勿来体育館で開催された勿来地区総合文化展双葉町スペースにおいて同じく開催され、町立学校の園児・児童・生徒の作品とともに約300点の作品が展示されました。27日は町立学校で梅檀祭が開催されたこともあり、多くの園児・児童・生徒が家族と一緒に作品を鑑賞していました。



▲友好町 京都府京丹波町の方々の作品展示



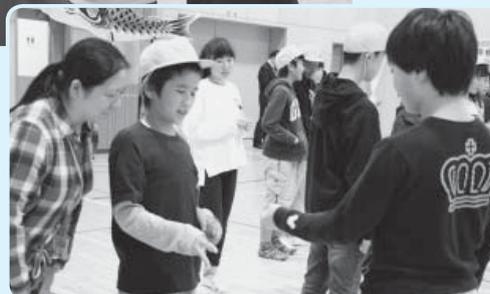
◀ 猛獣狩りに
行こう！



◀ 種足小学校から
のプレゼント



▶ ビリーブの合唱



▶ グリーティング
(名刺交換)

◆ ◆ ◆ 勿来地区総合芸能祭 ◆ ◆ ◆

11月11日、第50回いわき市民文化祭第45回勿来地区総合芸能祭が、いわき市勿来市民会館大ホールにおいて開催されました。

双葉町からも毎年参加させていただいており、双葉町民謡同好会、コーラスふたば、J Aスマイル大正琴、標葉せんだん太鼓保存会の皆さんが出演しました。

出演団体の中で唯一の和太鼓の迫力ある演奏や美しいコーラスや民謡、大正琴の音色を来場者は楽しんでいました。



コーラスふたば
・唱歌メドレー
「ふるさとの四季」
故郷 春の小川
鯉のぼり 夏は来ぬ
紅葉 雪 故郷

・夏
標葉せんだん太鼓
保存会



J Aスマイル大正琴
・さくらさくら ・野口雨情詩集 ・八木節



民謡同好会
・八木節

第30回記念 ふくしま駅伝大会 ～ふるさとへの思いタスキでつなぐ～

11月18日、第30回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）が開催されました。しらかわカナルスポーツパーク（白河市総合運動公園）からスタートし、全16区の選手たちは、福島県庁までの95kmをタスキをつなげて走り抜きました。

今年の双葉町チームは、白玉直裕監督がメンバーを集めるのが難しいと話していた中学生の4人が初参加となりました。全国へ避難している中での参加となり、夏と秋の2回にわたるチーム合宿を行い、初参加の選手も含め、選手全員の気持ちを一気に上げてきました。

大会前に募集していた選手皆さんのへ応援メッセージの動画を、前日に選手皆さんの前に見せていただきました。当日は沿道からも駆け付けた町民の方々などから、双葉町の手旗を振りながら温かい声援が送られました。選手皆さんはふるさと双葉町への思いをタスキにのせて精いっぱい走りを見せてくれました。

結果は、総合53位、町の部29位となり、選手たちはチーム一丸となって大健闘しました。井戸川俊キャプテンは「チームのみんなの頑張りで完走し順位を残すことができた。伸びしろのあるチームなので来年につなげたい」と話しました。



広報ふたば 11月号の訂正について

広報ふたば平成30年11月号P11上段、第30回ふくしま駅伝大会の記載に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

誤：9区 佐藤 未彩（白河第二中2年）
正：9区 佐藤 未彩（白河第二中3年）（敬称略）

双葉町消防団秋季検閲式



11月10日、町立学校体育館において、震災後6回目となる双葉町消防団秋季検閲式が開催されました。各避難先から石井義幸団長をはじめとする27人の消防団員が参加し、検閲式に臨みました。

式は殉職消防団員並びに東日本大震災犠牲者に対する黙とうで始まりました。根本英樹訓練分団長の号令のもと、伊澤史朗町長と来賓の方々による閲団、通常点検が行われました。伊澤町長は式辞で「今年には気候変動による台風や豪雨災害、地震災害が例年以上に、全国で多発しております。被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、



一日も早い復旧をお祈りいたします。消防団員の皆さまには、避難中であり、すぐには消防活動ができなくても、是非、双葉町を守る担い手としての意識を、今度とも引き続き持っていただきたいと思います」と述べました。続いて来賓の石川靖県相双地方振興局次長、佐々木清一町議会議長、安澤実双葉警察署浪江分庁舎所長、加瀬信二浪江消防署長が祝辞を述べられました。

式の中で9人の団員に対する定例表彰が行われ、石井団長から表彰状が贈られました。石井団長の訓示で団員の士気を高めたあと、閉式となりました。



坂本昌彦さん（長塚二）に東北交通栄誉賞

坂本昌彦さんが多年にわたり交通安全活動に積極的に取り組み多大な貢献をされた功勞により、東北管区警察局長と東北安全協会長の連名による表彰を受け、11月1日、安澤実双葉警察署浪江分庁舎所長より伝達が行われました。坂本さんは長年、浪江地区交通安全協会監事を務め、震災前の町内での交通安全活動のほか仮設住宅での事故防止にも尽力されました。伝達を受けて坂本さんは「感無量です」と感想を述べられました。



相馬税務署からのお知らせ

1. 平成31年(2019年)1月から、e-Tax(電子申告)の利用手続きがより便利になります。

○マイナンバーカード方式

用意するものは、次の2つ!

- ① マイナンバーカード ② ICカードリーダライタ

※既にe-TaxのIDを取得している方もe-TaxのID・パスワードが不要になります。

○ID・パスワード方式

マイナンバーカードやICカードリーダライタをお持ちでない方もe-Tax(電子申告)で申告できます。

用意するものは、次の2つ!(ID・パスワード方式に対応したもの)

- ① ID(利用者識別番号) ② パスワード(暗証番号)

※1. IDとパスワードは税務署で職員と対面による本人確認を行った後に発行しますので、発行を希望される方は、運転免許証などの本人確認書類をお持ちの上、税務署にお越しください。

※2. 国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」でのみ利用できます。

なお、従来どおり作成コーナーで申告書を作成して紙に印刷し、税務署へ郵送等により提出することもできます。 [国税庁ホームページ http://www.nta.go.jp](http://www.nta.go.jp)

2. 平成30年分確定申告書にはマイナンバーの記載が必要です。

税務署に所得税等の確定申告書を提出する都度、マイナンバーの記載と本人確認書類(番号と身元の確認できるもの)の提示または写しを添付していただく必要があります。

《本人確認書類の例》

(1) マイナンバーカード(番号確認と身元確認)

(2) 通知カード(番号確認)+運転免許証、健康保険の被保険者証など(身元確認)

※1. 申告書作成会場においてになる際は、本人確認書類の持参をお願いいたします。

※2. 確定申告書を郵送する場合は、本人確認書類の写しの添付をお願いいたします。

3. 平成30年分の所得税等の確定申告書作成会場について

平成30年分の所得税(及び復興特別所得税)、消費税及び贈与税の確定申告期における申告書作成会場は、次のとおり開設する予定です。

○開設場所 『相馬市振興ビル』相馬市中村字塚ノ町65-16

○開設期間 平成31年2月18日(月)～3月15日(金)《土、日を除く》

○開設時間 午前9:00～午後4:00

※申告書作成会場の開設期間前および開設期間中、相馬税務署内では用紙の交付は行いますが、申告書作成相談は行いませんので、開設期間内に申告書作成会場にお越しください。

4. 「確定申告のお知らせ」の持参について

前年、各市町村や税務署の申告相談会場で確定申告書を提出された方につきましては、確定申告書等の用紙(確定申告書、収支内訳書など)が送付されません。

確定申告書等の用紙に代えて、予定納税額等の申告に必要な情報が記載された「確定申告のお知らせ」が送付されますので、各市町村や税務署の申告相談会場に来場する際は、申告に必要な書類とともに「確定申告のお知らせ」もご持参されますようお願いいたします。

総会・交流会

石熊行政区



10月8日、9日、茨城県北茨城市の五浦観光ホテルにおいて、石熊行政区の総会・交流会を開催し、25人の参加者が県内外の避難先から集まりました。今年も行政区の皆さんの協力があり、盛会裏に開催することができました。

総会には、伊澤史朗町長と金田勇副町長にもご出席いただき、町の現状や復興への取り組みについて説明していただきました。参加者との意見交換では、皆さんからの質問や意見に対し、伊澤町長からご回答をいただきました。

交流会では、年に一度の再会を喜び、懐かしさから話は尽きず、とても有意義な時間を過ごすことができました。一次会では終わらず、部屋に戻り話し込む人もおり、避難生活の疲れを忘れて楽しいひとときを過ごすことができました。

翌日は、別れを惜しみながら、次回の総会での再会を約束し各自帰路につきましました。

双葉町民ゴルフ大会



10月14日、いわき市のサラブレットゴルフクラブにおいて第4回双葉町民ゴルフ大会が開催されました。

双葉ふれあいクラブの主催で行われ、当日はあいにくの天気雨の中のプレーとなりましたが、県内外の避難先から参加した43人はスポーツを通じて交流を深めました。結果は右記のとおりです。

優勝… 鶴沼 利一
 準優勝… 伊藤 吉夫
 3位… 伊藤 節夫
 ベストグロス賞… 伊藤 吉夫
 (敬省略)

渋川行政区



10月27日、28日、芦ノ牧温泉「丸峰観光ホテル」にて渋川行政区総会・交流会を開催し、県内外の避難先から27人の方が参加されました。

総会は川井正記副区長の司会進行で行われ、開会に先立ち東日本大震災と各地の避難先で亡くなられた方に黙とうを捧げました。

西尾富雄区長の挨拶、各役員、委員の紹介に続き会計報告、常設委員の監査報告ですべて承認されました。

報告事項では、薬師堂の東電賠償に関する問題も継続して請求することになりました。

渋川出身の半谷美咲さんがアジア競技大会ソフトテニス団体競技で金メダル獲得に貢献したことを報告しました。

来賓として参加いただきました金田勇副町長には挨拶の中で双葉町の現状、概要を説明していただき、なかなか復興が進まないことにストレスを感じていた地区の人たちの気持ちも少し和らいだように感じられました。

交流会は朝川洋一前区長の乾杯の挨拶ではじまり、酒を交わしながら1年ぶりの再会で二次会、三次会まで、時の経つのも忘れて交流を楽しんでいたようです。

いつ帰れるか分からない古里に思いを寄せてまた1年後の再会を約束し、紅葉を楽しみながらそれぞれの避難先へと帰りました。

第4回 双葉町民トレッキング

11月10日、双葉ふれあいクラブ主催の双葉町民トレッキングが開催され、県内外の避難先からの参加者19人が西郷村新甲子遊歩道でトレッキングを楽しみました。

当日は天気にも恵まれ、さわやかな秋の風を感じながら参加者の皆さんは約2.5キロメートルの阿武隈川の渓流を望むナラやハンノキなどが並ぶ林のコースを、森林浴やバードウォッチング、紅葉を楽しみながら散策しました。

散策中には話も弾み、参加者の皆さんは体を動かしながら交流を深めた様子でした。



総会・交流会

下羽鳥地区



10月27日、28日、穴原温泉吉川屋にて下羽鳥地区総会・交流会が開催され、県内外の避難先より37人が参加し、和やかに楽しく開催することができました。

総会の初めに、東日本大震災の犠牲者の皆さまに、黙とうをささげ、区長の挨拶の後、議長に澤上氏が選出され、昨年度の事業報告・収支報告・監査報告等が承認され、続いて、下羽鳥規約改正や事業計画案等、提案された議案が全て承認されました。

総会終了後に、伊澤史朗町長の講話、環境省からの除染・解体の説明、東京電力より下羽鳥地区の復興活動状況の説明を受けました。

その後の交流会は、伊澤町長にも参加いただき、阿部前区長の乾杯ではじまり、一年ぶりの再会ということもあり、思い出話や苦労話に花が咲き、あちらこちらで笑いの渦でした。

記念品贈呈やじゃんけん大会等で盛り上がり、二次会は、カラオケ組、部屋での談笑組と思いおもいに夜が更けるのも忘れて楽しんでいました。

翌日、町産業課より、羽鳥地区の復興計画耕作再開モデルゾーンについての説明を受け、次年度の再会を約束しながらそれぞれの帰路につきました。

復活! 2018 標葉祭り

10月14日、浪江町において一般社団法人浪江青年会議所の主催で標葉祭りが開催されました。標葉祭りは震災後初の開催となります。

会場には旧標葉郡(浪江、双葉、大熊町、葛尾村)の名産品を取り扱うブースや各町村を紹介するブースが立ち並びました。標葉フォトコンテストの応募作品展示コーナーでは故郷の懐かしい風景などの写真が多数展示され、町立学校の生徒たちも制作に携わった双葉町ダルマ市の様子のもザイクアートも展示されました。

双葉町ダルマ市の名物巨大ダルマ引きが行わ

れたほか、ふたば茶亭のブース出店もあり、双葉郡ゆかりの若者たちのぐるぐるユニットのブースではよっちゃんスルメの販売も行われました。標葉せんだん太鼓保存会の和太鼓の演奏には大きな拍手が送られ、たくさんの来場者の方々には旧標葉郡を堪能した様子でした。



▲ 標葉せんだん太鼓保存会のステージ

いわき・まごころ双葉会 会津の歴史探訪日帰りバスツアー



10月31日、43人が参加し、磐越道沿線の赤や黄色の秋色を車窓に眺め、久しぶりに会う町民同士の会話も賑やかに弾む中、会津若松市内に入り「県立博物館」「会津武家屋敷」「飯盛山」等を巡りました。

戊辰戦争で「勝てば官軍、負ければ賊軍」と汚名を着せられた京都守護職等、朝廷に忠誠をつくした会津藩が何故、冷涼な辺地の斗南に移封され、過酷な犠牲を払って生き抜いたかについて、改めてより深く理解し、知ることができました。

飯盛山では、白虎隊が自害した剣舞を見物し、戊辰戦争の歴史の一端を垣間見ることができました。

昼食は、会津武家屋敷で名物の「わっぱ飯」・「こづゆ」等を味わい、同時に開催中の色とりどりの鮮やかな菊人形展を楽しみました。

深まりゆく会津の秋を満喫した後、帰路のバス車中ではクイズ等で盛り上がり参加者一同は12月の例会の集いを楽しみにして散会しました。



▲ 双葉町ダルマ市名物「巨大ダルマ引き」



◀ ぐるぐるユニットのよっちゃんスルメのブース



▲ モザイクアートは後日町立学校へ寄贈されました

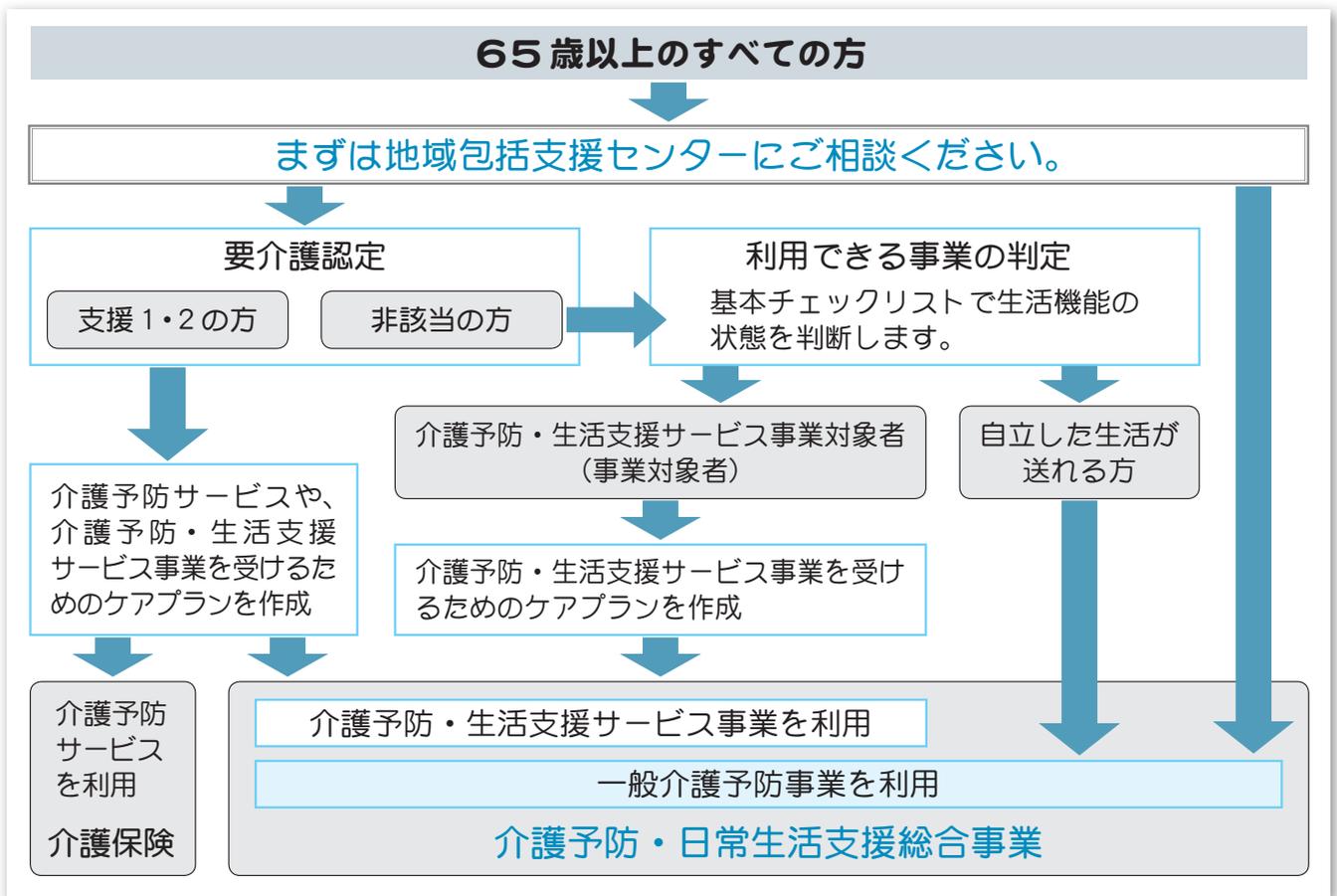
65歳以上のみなさまへ

介護予防・日常生活支援総合事業のお知らせ

介護予防・日常生活支援総合事業（以下、総合事業といいます。）とは、市町村主体で行う地域支援事業のひとつとして、地域の65歳以上の方を対象にその人の状態や必要性に合わせたサービス等を提供する事業です。

総合事業では、要支援に認定された方や生活機能の低下がみられる方が利用できる「介護予防・生活支援サービス事業」と、65歳以上のすべての方が利用できる「一般介護予防事業」を行い、皆さまの介護予防と日常生活の自立を支援します。

総合事業利用の流れ



■介護予防・生活支援サービス事業

要支援1・2の方

事業対象者

要介護認定で要支援に認定された方及び基本チェックリストなどにより総合事業の対象者認定された方が対象となります。平成28年度まで介護予防サービスとして提供されていた介護予防訪問介護と介護予防通所介護に相当する「訪問型サービス」と「通所型サービス」を受けることができます。

訪問型サービス

自分ではできない日常生活上の行為がある場合に、ホームヘルパー等による調理や掃除、洗濯などの支援を受けることができます。

平成28年度まで介護予防サービス事業者から介護予防サービスとして提供されていた介護予防訪問介護と同等のサービス（現行相当サービス）となります。



通所型サービス

通所介護施設で、入浴や排せつ、食事などの日常生活上の支援を日帰りを受けることができます。（デイサービス）

平成28年度まで介護予防サービス事業者から介護予防サービスとして提供されていた介護予防通所介護と同等のサービス（現行相当サービス）となります。



■一般介護予防事業

65歳以上のすべての方

65歳以上のすべての方を対象として、介護予防のための取り組みを行っています。主に指導教室等へ通いで参加することができます。

町では双葉町社会福祉協議会へ業務委託しており、福島県内各地において「運動教室」と「社協サロン」が実施されています。

また、いわき市の介護予防事業者へ業務委託し、3カ月コース/年1回の短期集中型運動教室を実施しております。



まずは地域包括支援センターにご相談ください

地域包括支援センターは、高齢者のみなさまが住み慣れた地域で安心して生活を送れるように、さまざまな面で支援を行うための総合相談機関です。

地域の病院や介護サービス事業所等の関係機関や町民の皆さまの避難先地域包括支援センターと連携し、生活支援を行っています。

また、認知症の方やそのご家族への支援も行っています。

■地域包括支援センターではこんなことを行っています。

総合相談支援

高齢者の抱える生活全般の悩み・相談に対して、適切なサービスの紹介や解決のための支援を行います。

権利擁護

高齢者の方への虐待防止・早期発見や悪質商法の被害防止に関係機関と連携して行います。

介護予防ケアマネジメント

要支援に認定された方のケアプラン作成や生活機能が低下された方へ総合事業の利用を支援します。

包括的・継続的ケアマネジメント

適切なサービスが提供されるように、ケアマネージャへの助言や支援を行います。

【問い合わせ先】 双葉町いわき事務所 健康福祉課 ☎0246-84-5205
双葉町地域包括支援センター ☎0246-84-6729

◆平成31年度 公立双葉准看護学院 学生募集◆

◇学科：准看護学科

修業年限：2年（全日制）
定員：30名（男女共学）

◇受験資格

中学校卒業以上の心身健全なる者（年齢不問）

◇願書受付期間

平成31年1月7日（月）～1月25日（金）必着
※窓口持参の場合、土日祝日を除く9:00～16:30まで
※郵送の場合、必ず簡易書留にすること

◇試験日程及び科目

| | |
|------|---------------------|
| 日時 | 平成31年2月1日（金）9:30 |
| 科目 | ①筆記試験（国語・数学）②作文 ③面接 |
| 受付時間 | 8:30～9:00 |
| 会場 | 公立双葉准看護学院 |

◇合格発表

平成31年2月8日（金）11:00
※本学院玄関及びホームページに受験番号を掲示

◇出願書類

詳しくは下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 公立双葉准看護学院 福島県南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-76
☎0244-32-0990 FAX 0244-32-0991

ますます寒くなるこの時期、転倒に気を付けましょう!

高齢者の寝たきりの原因の多くは転倒による骨折や痛みがきっかけとされています。今回は、なぜ歳とともに転倒しやすくなるのか。つまずきやすさの原因をご紹介します。

日常には、たくさん危険が潜んでいます

日常に潜む危険

年とともに変わる歩行の変化

つまずきやすくなった…疲れやすくなった…
高齢者は筋力の衰えとともに、実は歩き方も変わってきます。わずかな段差によるつまずきや転倒にも注意が必要です。

〈足のアーチ〉
加齢に伴いアーチはくずれやすくなります

3つのアーチは足が地面に着いた時にバネの役割として衝撃を吸収します

外側タテアーチ 内側タテアーチ ヨコアーチ

わずかな段差や引っ掛かりにつまずき、転倒します。畳のへり・こたつ敷き・電気製品のコードなども要注意。一度点検してみましょう。

さあ！姿勢に気を付けて腕を振って歩いてみましょう！歩幅が大きくなり、つま先が上がりやすく、つまずきにくなります。

心の健康相談窓口を掲載した絆創膏「大切にしよう 心といのち」を同封します。
是非ご活用ください。

医療従事者の皆さんは届出を忘れずに!

医師・歯科医師・薬剤師・看護師・歯科衛生士などの皆さんには、医師法等関係法律により、2年に1度、住所や従事先等を記載した届出票の提出が義務付けられております。平成30年は届出の年にあたりますので、該当する方は平成30年12月31日現在の状況を保健所まで届け出てください。

保健所への提出期限 平成31年1月15日

【問い合わせ先】 県庁保健福祉総務課 ☎ 024-521-7217 県庁医療人材対策室 ☎ 024-521-7222

双葉町社会福祉協議会

～ 12月健康運動教室、地域交流サロンのお知らせ ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。お気軽にご参加ください。

| 会 場 | 問い合わせ・申込先 | 開催月日 | 時 間 |
|--|---------------------|--------|-------------|
| 健康運動教室 (内容：健康講話、相談、運動機能の維持・向上等) | | | |
| 南東北総合卸センター2階第6会議室 (郡山市喜久田町卸1丁目1-1) | ☎ 024-973-5291 (開発) | 毎週 水曜日 | 13:30～15:00 |
| 北幹線第二応急仮設住宅集会所 (福島市飯坂町平野字内小原田8-1) | | 毎週 木曜日 | |

地域交流サロン (内容：健康体操、講話、相談、生きがいづくり、交流等)
※参加を希望される方は昼食準備のため、事前申込みをお願いします。

| | | | |
|---|---------------------|-----------|-------------|
| 双葉町サポートセンターひだまり 復興公営住宅勿来酒井団地敷地内 (いわき市勿来町酒井青柳14-5) | ☎ 0246-84-6725 (横田) | 12月19日(水) | 10:30～14:30 |
|---|---------------------|-----------|-------------|

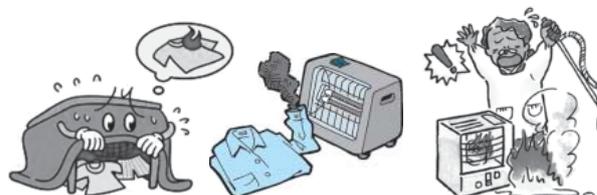


消防署からのお知らせ



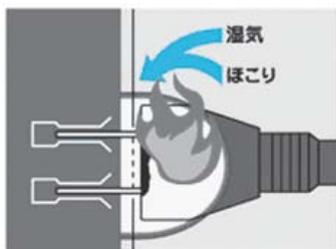
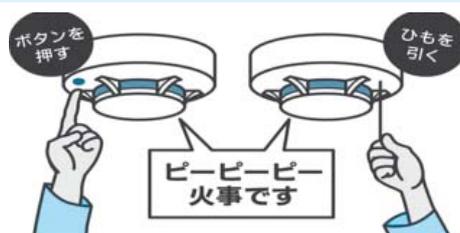
年末年始の火災に注意！

この時期は空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。また、年末年始は火気を取扱う機会も増えますので、取扱いには十分注意しましょう。



住宅用火災警報器の点検をしましょう。

住宅用火災警報器は、ほこりやクモの巣がつくと誤作動を起こしやすくなります。年末の大掃除に併せてお手入れしましょう。また、「ボタンを押す」、「ヒモを引く」ことで警報音がなるかどうかテストしてみましょう。



トラッキング現象に注意しましょう。

プラグを長時間差しっぱなしにしていると、コンセントの間にほこりや湿気がたまり、放電を繰り返し、炭化した部分から発火することがあります。この時期にプラグを抜き、ほこりを取り除きましょう。

火事と救急は 119番

< 消防署連絡先 >

- ・浪江消防署 ☎0240-34-4111
- ・富岡消防署 ☎0240-22-2119



環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ ～中間貯蔵施設について～

◇輸送について（11月15日現在） 双葉町内中間貯蔵施設の受入・分別施設等への輸送の状況は下記のとおりです。

| 搬出市町村 | | 搬入量 ^{m³} （袋）※ | 搬出市町村 | | 搬入量 ^{m³} （袋）※ |
|-------|------|-----------------------------------|-------|-----|-----------------------------------|
| 浜通り | 双葉町 | 24,958 | 中通り | 伊達市 | 18,322 |
| | 南相馬市 | 39,961 | | 本宮市 | 8,691 |
| | 浪江町 | 29,398 | | 桑折町 | 160 |
| | 葛尾村 | 42,596 | | 国見町 | 6,948 |
| | 飯館村 | 33,504 | | 川俣町 | 29,554 |
| 中通り | 福島市 | 10,056 | | 大玉村 | 7,073 |
| | 二本松市 | 18,078 | | 計 | 269,299 |

※フレキシブルコンテナ等1袋の体積は1^{m³}と換算しています。

▶ 双葉町細谷地区に設置する仮設焼却施設及び仮設灰処理施設の起工式を11月15日に実施しました。

◇保管場及び陳場下交差点の放射線監視

▶ 空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。

▶ 中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO（中間貯蔵・環境安全事業株式会社）のHPで公表しております。（URL）<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



【問い合わせ先】福島地方環境事務所 中間貯蔵部 調査設計課 ☎024-563-1293

厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」

福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

【求職者向け】行くしかない!! 合同就職面接会 in いわき

参加企業全40社【参加無料・申込不要・履歴書不要】

実は面接会が就職への近道♪

就職の情報収集は直接がいいね! 求人票には載っていない魅力がドン! っと聞ける!

企業からのラブコールもあり、あなたの選択の可能性も広がります。

★応募書類キットのプレゼント ★証明写真の無料撮影あり!

●日時…12月14日(金) 10:15~15:15 (受付開始10:00~)

【第1部】10:15~12:00 【第2部】13:30~15:15

●会場…ラトブ 6F いわき産業創造館 企画展示ホール (いわき市平字田町120)

※雇用保険受給者は求職活動実績になります。参加証明書を発行します。

※参加企業の詳細は、ホームページをご覧ください。



【企業申込型】【個人申込型】コミュニケーション能力講座

人との関わり方、信頼関係を築くコミュニケーション術を実践的に楽しく学ぶ講座です。

企業の方へ ◎職場の雰囲気アップ! ◎求人の応募数・定着率アップ! ◎顧客満足度アップ!

求職者の方へ ◎苦手な人も好きになる! ◎新たな自分の強みを発見! ◎就職活動のアピールに役立つ!

●日時…平成31年1月22日(火) 13:00~16:30

●会場…ラトブ 6F いわき産業創造館 企画展示ホール (いわき市平字田町120)

●定員…100名程度

●締切日…平成31年1月9日(水)

※申込締切後、当該事業の主旨に基づき厳正に選考し、選考結果は電話にてご連絡します。

※雇用保険受給者で証明書が必要な方に参加証明書を発行します。



企業申込型



個人申込型

【企業申込型】【個人申込型】事故由来廃棄物等特別教育講習

除染で出た除去土壌や汚染廃棄物等の処分業務に従事する際には、事故由来廃棄物等特別教育講習を受講しなければならないとされています。事故由来廃棄物等処分業務特別教育規程(平成25年厚生労働省告示第140号)に基づくカリキュラムで実施し、修了証を発行。1日で取得できます。

●内容…除染で出た除去土壌や汚染廃棄物等の処分業務、使用設備の構造・取扱方法

●日時…平成31年1月23日(水) 10:15~18:15

●会場…ラトブ 6F いわき産業創造館 企画展示ホール (いわき市平字田町120)

●定員…60名程度

●締切日…【企業申込型】平成31年1月9日(水)

【個人申込型】平成31年1月16日(水)

※申込締切後、当該事業の主旨に基づき厳正に選考し、選考結果は電話にてご連絡します。

※雇用保険受給者で証明書が必要な方に参加証明書を発行します。



企業申込型



個人申込型

共通事項 ※受講料・テキスト代、無料です。※詳しくは、チラシまたはホームページをご覧ください。

【申し込み・問い合わせ先】

福島広域雇用促進支援協議会 榎葉窓口 (榎葉町役場新産業創造室内)

☎0240-23-6290 FAX 0240-23-6291

ホームページ





双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介します

○ 秋茄子や かさぶた取りて 塩漬けに
○ 屋形舟 水面の月も 肴かな
藤田 博司(下条)

○ 故郷の 想い7年 秋彼岸
○ 生きてこそ いつか叶うや 秋祭り
柚原 秀康(三字)

○ 阿武隈の 海まで続く 稲穂波
○ 故郷の 無情の家や 虫すたく
関根 初巳(長塚一)

○ 震災が 縁で人会う 秋桜
○ 山陰の 少しの風に 花芒
遠藤 シゲヨ(長塚一)

○ 日々変わる 終り田の色 秋の風
○ 北便り 鶴の声とは 肌寒し
○ 宮詣り 七五三かや 家族連れ
○ コスモスの 肩に一片 朝茜
○ 虫の音も 絶えて淋しや 三日月
○ 霜の月 残り少なの 暦かな
武内 恒雄(長塚二)

フタバくんを探せ

本紙のどこかにフタバくんが
隠れています。
探してみてください。



広報ふたば11月号の訂正について

広報ふたば平成30年11月号P24双葉の風だよりに
掲載いたしました武内恒雄さんの文芸作品の記載に誤りが
ありました。お詫びして訂正いたします。

誤：鈴虫の 鳴く音途切れて 秋時間
正：鈴虫の 鳴く音途切れて 秋時雨

人のうごき10月分 敬称略

お誕生おめでとうございます

| 氏名 | 生年月日 | 保護者 | 行政区 |
|----------------|--------|--------|-----|
| わかばやし えま 若林 永真 | 9月24日 | 真吾・美幸 | 長塚一 |
| やまね しずき 山根 寧月 | 9月26日 | 辰洋・光保子 | 下条 |
| たまね ほのか 玉根 穂果 | 10月5日 | 俊介・桃子 | 新山 |
| わきざき ことね 脇崎 寿音 | 10月10日 | 寿・真奈美 | 長塚二 |

お悔み申し上げます

| 氏名 | 年齢 | 死亡日 | 行政区 |
|-------|----|--------|-----|
| 高村テル子 | 90 | 10月10日 | 山田 |
| 伊藤 忠義 | 81 | 10月15日 | 下条 |

双葉町民の避難状況 (平成30年10月31日現在)

- ・福島県内に避難されている方 4,076人
 - ・福島県外に避難されている方 2,825人
- ※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から
死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示し
ています。

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、
死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご
連絡ください。

記録として次の世代へ
ふるさと

絆通信

第68号



ずっと、ふるさと。双葉町。



双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先のない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日をどのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載しています。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。



「ふるさと絆通信」で

あなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。

避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。

掲載する文章は、その内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する必要はありません。

【問い合わせ先】 秘書広報課
☎ 0246-84-5202

しんか としみ
新家 俊美さん

(浜野)



●避難先●
福島県いわき市



相撲は20歳になってから

子どもの頃から体を動かすことが得意で、特に、走ることと泳ぐことではそれなりの能力を発揮していたと思います。そのため、中学卒業後に進んだ相馬農業高校では水泳部に所属しました。同校は県内でも数少ない相撲部がある高校でしたが、当時はまだ、私との縁はなく、高校卒業後、就職してからしばらく経った20歳のとき、知人から体を生かしてみないかと声をかけられ相撲を始めました。「相農出身で相撲」といえば、子どもときから相撲をしていたと思うかもしれませんが、私の場合、そうではありませんでした。

国体出場と別競技で「兄弟出場」

小高町(当時)で行われた大会への出場以降、本格的に相撲を始め、徐々に勝ち進むようになりました。25歳のとき、県内ベスト3に入ったため初めて国体に出場し、33歳まで5回国体の土俵に上がりました。その間、昭和58年に群馬県で行われた第38回国体(あかぎ国体)では、弟(伸明)がバスケットボール東京都代表チームとして出場し、別競技ではありませんが「兄弟出場」となりました。

町スポーツ推進委員としての活動

相撲での国体出場や、子どもたちに対する相撲の指導や大会の運営等に加わるようになる中、町スポーツ推進委員に委嘱され

ました。それ以降、相撲に限らず様々な競技を通した生涯スポーツの普及啓発に関わるようになりました。また、震災前年まで双葉郡大会で相撲競技を開催していましたが、終了後には必ず反省会を持ち情報交換や互いの親睦を深めていました。今では楽しい思い出です。

生涯スポーツが復興を後押し

委嘱されて今年で37年目となり、現在、委員長を務めています。双葉町には、多くの競技団体があり、平成15年には総合型地域スポーツクラブ「双葉ふれあいクラブ」が発足するなど生涯スポーツが盛んでした。原発事故後、避難により町民が各地に分散する中、その多くが休止を余儀なくされましたが、ここ数年、各チームの練習や大会への出場、同クラブの活動などが再開しています。また、ふたばスポーツフェスティバルやJOCの協力でオリンピックを迎えオリンピックデー・フェスタinふたばを開催し多くの皆さんに参加していただけるなど、生涯スポーツがコミュニティの活性化や心の復興に役立っているのではと感じています。

震災前と同じようなことはいきませんが、生涯スポーツを通して、故郷の絆を大切にしつつ、一人でも多くの方が前向きな日々を送れることに繋がるよう活動を続けたいと思います。



いずみた じゅん
泉田 淳さん

(両竹)



●避難先●
 福島県郡山市

勤務先が避難所に

東日本大震災発生時は、南相馬市内の小学校に教頭として勤務していたため、大地震の発生直後、児童や教職員の安全確認を行いつつ避難所の設営を進めました。同校の校舎は南相馬市原町区の南東部で海岸まで約1.5km以上離れていましたが、学区内に大津波が襲来したため、びしょ濡れや泥まみれで学校までたどり着いた方も多く、そうした中には家族が安否不明な方もおり、身体の安全確保だけではなく心のケアを含めた幅広い対応が必要でした。

瓦礫をかき分けながら自宅に向かう

避難所である体育館は停電のため、日が落ちると真っ暗な上、暖も取れないため、身を寄せている皆さんには環境が整っている市内の他の避難所に移っていただきました。その後、深夜に双葉町に向かいましたが、津波による瓦礫や泥の堆積、そして橋の崩壊のため途中で車を降りざるを得ず、徒歩で自宅近くまでようやく辿り着きました。家は、津波により大きく破壊され、家族の姿はありませんでした。その後向かったヘルスケア一ふたばで妻や息子と再会しました。翌朝になり、心配していた両親の無事な姿も確認し安堵しました。

「県外兼務」という稀なケース

未曾有の大災害による混乱もあり、平成23年8月に人事異動が行われ、双葉北小学校に

転任しましたが、猪苗代町内での勤務を経て、双葉町の避難所がある埼玉県加須市で多くの児童が在籍している加須市立騎西小学校に、他県での「兼務」という他に例を見ない特殊なかたちで勤務しました。

新任校長として双葉町の学校へ

避難後、双葉北小をはじめ避難先で開校している双葉郡内各小学校を経て、今年4月から、いわき市内の仮設校舎で再開し5年目を迎えた双葉南小学校に新任校長として勤務しています。校庭やプールなど施設等に課題はあるものの、町立幼稚園・小中学校は仮設とは思えないほど立派な施設の中、少人数制できめ細かな授業が行われています。そして何より、子どもたちが互いを認め合い助け合いながら切磋琢磨する姿には、毎日驚かされています。また、保護者や町民の皆さんに「両竹の泉田です」と挨拶をすると、すぐに受け入れてくださり、学校運営に参加や協力をいただけるなど、日々故郷への懐かしさやありがたさを感じています。

双葉町を離れて間もなく8年、ほぼ全ての児童は故郷の記憶がなく低学年は避難後に生まれました。授業で「ふるさと創造学」など故郷を学ぶ機会がありますが、将来を担う子どもたちに、双葉町をどのように伝え自信と誇りをもってもらえるか、私も一緒に勉強していきたいと思っています。

レイマカニ フラ オハナ

せりかわ のりこ
代表 芹川 則子さん

(新山)



●避難先●
福島県本宮市



皆さんに合わせた「楽しむフラ」を目指しています

浜通りでの生活に憧れた

中通りで生まれ育った私にとって、海は特別な存在でした。サーフィンをしている友人に付いて浜通り各地の海岸をまわりましたが、冬でも雪がなく澄んだ青空のもと太陽が波や海面に輝いてまぶしい様子に、何度もうした場所に住んでみたいと思いました。また、帰宅の途で国道288号を多く利用しましたが、新山、前田、山田など、車窓から見えるのどかな沿道の風景をいつも見ていました。

憧れの浜通り暮らしは双葉町で

今から約25年前、双葉町を眺めるだけの日々から「暮らす日々」となりました。温暖な気候ときれいな海が目の前にあるというありがたさ、他の土地から移り住んだ私を長年生活している方々と同じように受け入れて下さった皆さんの優しさなど、子どもたちにとっても、ここが故郷になることはとても幸せだと思いました。

一方、子育てをしながら、町社会福祉協議会の登録ヘルパーとして働いていました。「ばあちゃん子」として育った私にとって、お年寄りに関わる仕事をしながら、子どもたちと共に双葉町で生活した時間とても充実していました。が、原発事故により約17年でピリオドを打ち、大切な人たちと離ればなれになってしまったことは、とても残念でなりません。

避難先での再出発

町を離れてから本宮市白沢(旧白沢村)の実家を経て、同市内本宮に自宅を建て生活しています。消防士になった長男も昨年から成人して独立したため子育ても終わり、介護施設での仕事を続けながら、震災前から親しんでいたフラを生かしたいと考え、自宅にスタジオを開き、週3日間、子どもから大人まで楽しくレッスンをを行っています。

フラを通じたボランティア

またレッスンの傍ら、ボランティアで高齢者施設を慰問しています。ハワイアンを中心とした「見せるフラ」だけでなく、歌謡曲や懐メロなどを通して、その場にいる皆さんと一緒に「楽しむフラ」も行っています。が、お年寄りが懐かしいメロディーにのせて体を動かしているときの笑顔に私のほうが癒されることもしばしばです。

また、本宮市社会福祉協議会からの依頼により同市立小学校でフラを通じたボランティア活動を子どもたちに伝える時間の講師をしたり、レッスン受講者とともにイベントに参加するなどしています。

【お気軽にご連絡ください】

〒969-1115

福島県本宮市本宮字千代田34-12

電話 (090) 7667-8284

※5人以上お集まりいただければ、各地での教室開設が可能です。

ぼくの夢・わたしの夢

埼玉県川口市立辻小学校 6年 ^{はせがわ まな}長谷川 真奈さん(郡山)

私の将来の夢は、書道の先生になることです。小学校1年生の冬に書道を習い始め、とても好きになりました。今では、1日に何時間書いていても、いやになりません。夏・冬休みの土日は、条幅の大会に出場するため、4時間から8時間、練習をしています。

来年は中学生になります。近くの中学校には、書道部がありませんが、高校は書道科に行きたいと思っています。

勉強はあまり得意ではありませんが、行きたい高校に行けるように、書道と勉強をがんばり、先生になることができれば、教える子ども達に、書道の先生が、私に教えてくれたようにしたいと思います。



今月のベストスマイル



双葉町県南双樹会と双葉町埼玉自治会の交流会に参加した、藤田博司さん(下条・左)と天野敬士さん(三字・右)の笑顔です。

編集後記

今月の表紙は、町立学校の梅檀祭のオープニングで、児童・生徒が標葉せんたん太鼓の力強い演奏を披露した場面です。この日の10日前に町立学校へ取材に行った際に練習を見学させていただきました。練習の段階から手抜きをしない真剣な態度、また指導者の方に対する礼儀正しく素直な姿勢に心打たれ、表紙はこの場面に決めました。子どもたちは伝統芸能を継承しながら、継承していくための素養を自然と身に着けているのだと感じました。

今年も、友好町京丹波町の方々と交流をする機会に恵まれた1年でした。ふたば音頭を動画サイトで見て練習している方々のお話などをお聞きし、世の中のつながりが希薄になっていると感じている人も多い一方、外部とつながる手段は増えているのかもしれないと思いました。1つの媒体に偏ることなく、時代の変化に応じてさまざまな発信方法を模索していくことも忘れないようにしたいと思います。年末の忙しい時期、風邪やインフルエンザが流行しやすくなります。壮健にて新年を迎えられますよう体調管理にはご注意ください。

連絡先

○いわき事務所
〒974-8212
福島県いわき市東田町二丁目19-4

☎ 0246-84-5200
FAX 0246-84-5212
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

○郡山支所
〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20-2

☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○埼玉支所
〒347-0105
埼玉県加須市騎西36-1 加須市騎西総合支所2階

☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式ホームページ
<http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>

○双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」
<http://futabanowa.wordpress.com/>

携帯サイト
<http://www.town.fukushma-futaba.lg.jp/m/>

○双葉町復興ポータルサイト
<http://www.futaba-fukkou.jp>

